科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：ヨーロッパ近現代史入門 ILAS Seminar :Introduction to Studies in Modern and Contemporary European History			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　福元　健之		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	受講定員(1回生定員)	12 (8) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	共西23			使用言語	日本語
キーワード	ヨーロッパ / 近代史 / 現代史 / ナショナリズム						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

本演習では、ヨーロッパ近現代史に関する文献の精読を行う。今年度のテキストは、M・ヴァン＝ヒンダーアハター、J・フォックス編著（金澤周作、桐生裕子監訳）『ナショナリズムとナショナル・インディファレンス――近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容』である。国民への、あるいはナショナリズムへの「無関心」を対象に、様々な事象を扱ったテキストを読み、19・20世紀ヨーロッパの多面的な歴史像や、ナショナリズム研究の現状と課題について理解を深めたい。毎週一章ずつ読み進め、担当者はレジュメを作成し、それを基に出席者で議論する。

[到達目標]

西洋近現代史に関する文献の精読と討論を通じて、研究に必要な知識や方法論の基礎を身につけ、また自らの考えを言語化できるようになる。

[授業計画と内容]

１．イントロダクション

２．序章を読む
　テキストの序章「ナショナル・インディファレンスと近代ヨーロッパ・ナショナリズムの歴史」（マールテン・ヴァン＝ヒンダーアハター／ジョン・フォックス）を読み、その内容について、金澤周作監修『論点・西洋史学』をサブテキストにして、そこで挙げられている論点を参考にしながら議論する。

３～１３．本論（第１～１１章）を読む
　担当者は、該当箇所のレジュメを作成し、報告・問題提起を行う。それを踏まえて、出席者全員で議論する。

３．「第１章　他のことで頭はいっぱい――19世紀ベルギーにおける国民文化プロジェクトの障害と限界」（トム・ヴルスハフル）

４．「第２章　ナショナル・インディファレンスと国民的献身の往還――第一次世界大戦期ロシアにおけるトレンティーノ出身戦争捕虜の軌跡」（シモーネ・A・ベッレッツァ）

５．「第３章　移行途上の迷い？――アドリア海北部におけるハプスブルク帝国の遺産，国家と国民形成，新ファシスト秩序」（マルコ・ブレシャーニ）

ILASセミナー ：ヨーロッパ近現代史入門(2)へ続く↓↓↓

６．「第４章　ナショナル・インディファレンスとトランスナショナル企業――チェコの製靴会社バチャのパラダイム」（ザカリー・ドルシャル）

７．「第５章　ナショナリズムと無関心のあいだ――戦間期ユーゴスラヴィアにおける無関心の緩慢な排除」（フィリプ・エーデルヤッツ）

８．「第６章　フランス人らしさへの複数の道――ナショナル・インディファレンスとアルザスのフランス復帰，1919-1939年」（アリソン・キャロル）

９．「第７章　政治を越えて――日常的民族実践としてのナショナル・インディファレンス」（ガーボル・エグリ）

１０．「第８章　国民への無関心・統計・構築主義パラダイム――戦間期ポーランドの国勢調査におけるトゥテイシ（「ここ出身の人々」）欄」（モルガン・ラベ）

１１．「第９章　20世紀前半の上シレジアにおける道具的ナショナリズム」（ブレンデン・カーチ）

１２．「第10章　「わたしは諸国民の境を取り払った」――第二次世界大戦終結期上シレジアにおける国民の乗り換えとローマ・カトリック教会」（ジム・ビョーク）

１３．「第11章　「ソヴィエト連邦市民――なんと荘厳な響きでしょう」――ポスト・スターリニズム期ソ連の投書・ナショナリティ政策・帰属意識」（アナ・ウィティントン）

１４．結論（第１２章）と解題を読む
　テキストの結論「結　論――（再論）ナショナル・インディファレンスと近代ヨーロッパ・ナショナリズムの歴史」（ジョン・フォックス／マールテン・ヴァン＝ヒンダーアハター／ジェイムズ・M・ブロフィ）および桐生裕子による解題を読み、論文集全体の疑問点や批判点に関する考察をまとめたうえで、議論する。

１５．フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

報告の内容、演習中の発言、出欠状況をもとに、平常点で評価する。

[教科書]

マールテン・ヴァン=ヒンダーアハター、ジョン・フォックス編著（金澤周作、桐生裕子監訳）『ナショナリズムとナショナル・インディファレンス――近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容』（ミネルヴァ書房、2023年）ISBN:9784623094356（入手方法については、別途初回に説明します。）

[参考書等]

（参考書）
金澤周作監修 『論点・西洋史学』（ミネルヴァ書房、2020年）ISBN:9784623087792（入手方法については、別途初回に説明します。）

ILASセミナー ：ヨーロッパ近現代史入門(3)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：ヨーロッパ近現代史入門(3)

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、決められた文献を読み、出席することが前提となる。また、報告担当者は、レジュメを作成し、それに基づいて報告を行う。他の出席者からの質問に答えられるように、分からないところも調べてくることも求められる。

[その他（オフィスアワー等）]